

令和6年度 内部統制制度に関する取組報告書（概要版）

ACTION
(改善)

【令和7年度取組】

- 財務に関する事務に潜むリスクを所管課で検討、点検する。
- リスクが発生した際はリスク事案発生報告書を作成し、全庁で類似のリスク事案が起きないように共有する。
- 内部統制、その他財務に関する基本的な事務について研修を実施する。
- 組織構造の見直しや働き方、職場環境の課題の整理について課題や意見を出し合い、全庁一丸となって組織強化に取り組む。
- 人事評価制度を活用して、職場内で業務上の協力、相談ができる環境づくりに努める。
- 公金紛失等事案から見てきた課題や再発防止策に取り組み、セルフチェック機能の向上を図るため、各種チェックシートやマニュアルの見直しを適宜行う。
- 包括外部監査での指摘の改善を継続し、マニュアルの見直しや研修を実施し、適正な事務が執行できるよう、理解を深めていく。

継続的改善

「泉南市内部統制制度に関するガイドライン」に基づき、財務に関する事務に係る内部統制体制の整備及び運用について取りまとめを行いました。

PLAN
(計画)

- 令和5年度泉南市内部統制制度に関する取組報告書を作成。令和6年度取組内容の実施について決定。

CHECK
(点検)

- 日常的モニタリング・独立的評価
- 全庁的な内部統制の整備及び運用の評価…不備なし
- 各所属での業務レベルの内部統制の評価…不備あり
リスク事案発生件数…12件
【うち重大な不備1件（過年度分）】

DO
(実行)

◆◆◆気づいた点◆◆◆

- リスク件数は令和5年度の件数（11件）と比較し横ばいとなったが、過年度に発生したリスク事案（1件）を含めると僅かに増加した。
- リスクの発生要因としては、依然として支払い誤りやスケジュール管理の不備が継続して発生していた。
- 公金紛失等事案に対しての再発防止策について、実効性を確保した取組とするため、セルフチェック機能の向上の他、第三者の視点によるチェック・指導を行い、職員一人ひとりが職務に責任を持ち、適正に事務を執行することの必要性を再認識した。
- 職場状況チェックシートやリスクの発生要因から、多忙や人員不足等の課題も見られたため、課題や意見を出し合い、全庁一丸となって組織強化に取り組む必要がある。

- 今年度に判明した公金紛失等事案の発生を受け、「マニュアルの実効性の確保」の取組として、内部統制・コンプライアンス研修を実施し、適正な事務処理を徹底するよう努めた。
(管理監督職：対面研修、全職員：動画研修)
- 財務に関する事務に潜むリスクを所管課で検討し、点検した。
- リスクが発生した際はリスク事案発生報告書を作成し、全庁で類似のリスク事案が起きないように努めた。
- 市としての入札・契約に関するルールの検討を進め、適宜庁内掲示板等を通じて周知し、適正な事務が執行できるよう努めた。
- 会計課において全庁の統一マニュアルを再整備するとともに、各課の業務マニュアルを再整備し、職員に周知徹底した。